



第1回

日本医薬品安全性学会 学術大会

会期：2015年7月4日(土)・5日(日)

会場：福山大学宮路記念館 (福山市)

「医薬品有害事象^{ゼロ}への挑戦」の第一歩

会長講演

- ・ 薬剤過敏症を極める 会長 宇野 勝次 (福山大学薬学部教授)

教育講演

- ・ 腎機能低下時の医薬品安全性 ~通常医薬品がハイリスク薬に変わる時~
平田 純生 (熊本大学薬学部教授)
- ・ 薬剤性肺障害 藤森 勝也 (新潟県立柿崎病院院長)
- ・ 急性薬物中毒とその対処 富岡 譲二 (米盛病院副院長)

シンポジウム

- ・ 有害反応原因薬検出のための臨床解析
オーガナイザー 二神幸次郎 (福岡大学病院薬剤部長)
- ・ 抗がん剤の副作用対策
オーガナイザー 伊藤 善規 (岐阜大学病院薬剤部長)
- ・ 病棟薬剤業務により副作用は減少する
オーガナイザー 前田 頼伸 (中国労災病院薬剤部長)
- ・ 医薬品安全性を担保するための臨床推論
オーガナイザー 川口 崇 (東京薬科大学・東京都病院薬剤師会臨床推論推進特別委員会)
- ・ PK/PGxを用いたハイリスク薬による有害事象への介入
オーガナイザー 北市 清幸 (岐阜薬科大学薬物動態学教授)

ワークショップ

- ・ 重篤副作用早期回避のためのシミュレーションPBL ~在宅・病棟のリアル症例で学ぶ~
オーガナイザー 小茂田昌代 (東京理科大学薬学部教授)
- ・ 医薬品有害反応を未然に防ぐためにどうするか? ~スモールグループディスカッションによる症例検討会~
オーガナイザー 森 直樹 (くまもと温石病院薬局長)



福山大学宮地記念館

※学会員募集中 (下記の学会HPより、ご登録をお願いいたします。)

日本医薬品安全性学会 ホームページ：<http://jasds.jp>

2015年3月5日

各位

日本医薬品安全性学会
理事長 宇野 勝次

第1回学術大会開催のご案内

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

医薬品が社会に多大な貢献をもたらし、人間社会に必要不可欠な存在であることは周知のことです。数々の新薬の登場により、多くの人々の命が救われ、多くの病気が改善されてきました。しかし、その一方で医薬品が数々の有害事象をもたらしてきたことも事実であります。また、医療が目覚ましく進歩したにも関わらず、医薬品の有害作用の状況はほとんど変わっていないのが現状です。それは、医薬品の安全性の確保のために、医薬品の有害作用に精通した専門の医療従事者や医療関係者を養成して来なかったことが一因と考えられます。

そこで、2014年5月10日に同志の先生方と共に「日本医薬品安全性学会」を設立しました。本学会は医薬品の安全性への意識が高く、広範囲の医薬品安全性情報を身に着け、高度な臨床解析力のある『医薬品安全性専門薬剤師』や『医薬品安全性専門MR』を養成（育成・認定）することを目的としています。『医薬品安全性専門薬剤師』や『医薬品安全性専門MR』を社会に輩出して、臨床現場で実践的に医薬品の安全性を向上して行きたいと考えています。第一回学術大会は、2015年7月4日～5日に福山大学宮地記念館（福山市）で開催し、そのテーマは『医薬品有害事象^ぞへの挑戦の第一歩』と考えております。

本学会は各医療機関の一施設に一人の『医薬品安全性専門薬剤師』、各製薬会社の一営業所に一人の『医薬品安全性専門MR』を養成することを目指しています。医薬品の安全性を重要視されている貴組織におかれましては、私共の「日本医薬品安全性学会」の趣旨に十分ご理解願えると信じております。つきましては、貴組織の方々から本学術大会に参加されることを切に希望致します。

末筆でございますが、貴組織のますますのご発展とご活躍を祈念申し上げます。

謹白

第1回日本医薬品安全性学会学術大会

会期：2015年7月4日(土)・5日(日) 会場：福山大学宮路記念館(福山市)
会長：宇野 勝次(福山大学薬学部)

ゼロ

テーマ：医薬品有害事象0への挑戦の第一歩

- 会長講演：・薬剤過敏症を極める 宇野勝次(福山大学薬学部教授)
教育講演：・腎機能低下時の医薬品安全性～通常の医薬品がハイリスク薬に変わるとき～
平田純生(熊本大学薬学部教授)
・薬剤性肺障害 藤森勝也(新潟県立柿崎病院院長)
・急性薬物中毒とその対処 富岡譲二(米盛病院副院長)
・副作用マネジメントで薬剤師の専門性を発揮 ～乳がん外来の場合～
小茂田昌代(東京理科大学薬学部教授)

シンポジウム：(2015年3月5日現在)

- ① 医薬品有害反応の臨床解析のススメ 二神幸次郎(福岡大病院薬剤部長)
② 医薬品過敏反応の原因薬検出法の新たなる挑戦 宇野勝次(福山大学薬学部教授)
③ 医薬品の安全性向上のための副作用モニター活動 廣田憲威(大阪ファルマプラン)
④ ジェネリック医薬品の安全性評価 黒川達夫(慶應義塾大学薬学部教授)
⑤ 抗がん剤の副作用対策 伊藤善規(岐阜大学病院薬剤部長)
⑥ PK/Pgx を用いたハイリスク薬による有害事象への介入 北市清幸(岐阜薬科大学教授)
⑦ 病棟薬剤業務により副作用は減少する 前田頼伸(中国労災病院薬剤部長)
⑧ 医薬品の安全性評価に薬学的臨床推論をどう活かすか 川口 崇(東京薬科大学助手)

ワークショップ：

- 1 重篤副作用早期回避のためのシミュレーション PBL～在宅・病棟のリアル症例で学ぶ～
小茂田昌代(東京理科大学薬学部教授)
2 医薬品有害反応を未然に防ぐためにどうするか?～スモールグループディスカッションによる症例検討会～
森直樹(くまもと温石病院薬局長)・平田純生(熊本大学薬学部教授)

学会入会：インターネット登録

「日本医薬品安全性学会」

ホームページ：<https://jasds.jp>

| | 年会費 |
|------|--------|
| 一般会員 | 7,000円 |
| 学生会員 | 2,000円 |

インターネット登録：「第1回日本医薬品安全性学術大会」

ホームページ：<https://jasds.jp/conference/2015/>

| | 会員 | 非会員 | 学生会員 | 学生非会員 |
|------|--------|---------|--------|--------|
| 事前登録 | 5,000円 | 10,000円 | 無料 | 1,000円 |
| 当日 | 8,000円 | 15,000円 | 1,000円 | 2,000円 |

・演題登録：

2015/1/5～3/31

・事前参加登録：

2014/12/28～2015/4/30

・ワークショップ：2015/1/5～先着40名(参加)，後20名(聴講)